

麻しん風しん混合ワクチン予防接種 予診票

任意接種用

※接種希望の方は、太ワク内をご記入ください。

		診察前の体温	度	分
住 所	TEL () -			
フリガナ				
予防接種を受ける人の氏名	男 女	生年 月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日生 (歳 力月)	
(保護者の氏名)				

質問事項	回答欄		医師記入欄
1. 今日受けられる予防接種について説明文を読んで理解しましたか	はい	いいえ	
2. 今までに麻しんワクチン、風しんワクチン、麻しん風しん混合ワクチンのいずれかの予防接種を受けたことがありますか	ある (ワクチン)	ない	
3. 【予防接種を受けられる方がお子さんの場合】 分娩時、出生時、乳幼児健診などで異常がありましたか	ある(具体的に)	ない	
4. 今日、普段と違って具合の悪いところがありますか	ある(具体的に)	ない	
5. 現在、何かの病気で医師にかかっていますか	はい(病名)	いいえ	
6. 最近1カ月以内に何か病気にかかりましたか	はい(病名)	いいえ	
7. 最近1カ月以内に近親者や周囲に麻しん、風しん、水痘、おたふくかぜなどにかかった方がいますか	いる(病名)	いない	
8. 最近1カ月以内に予防接種を受けましたか	はい(予防接種名)	いいえ	
9. 今までに予防接種を受けて、具合が悪くなったことがありますか	ある(具体的に)	ない	
10. 今までに特別な病気(先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、血液、脳神経、免疫不全症、悪性腫瘍、その他の病気)にかかり、医師の診断を受けたことがありますか (“ある”の場合) その病気を診てもらっている医師に、今日の予防接種を受けて良いといわれましたか	ある(具体的に)	ない	
11. 今までにひきつけ(けいれん)を起こしたことがありますか (“ある”の場合) ひきつけ(けいれん)を起こしたとき、熱は出ましたか	ある (ころ 回くらい) (最後は 年 月 ころ)	ない	
12. 薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか	はい() ℃	いいえ	
13. 近親者に予防接種を受けて、具合が悪くなった方はいますか	ある(薬、食品名)	ない	
14. 近親者に先天性免疫不全と診断されている方はいますか	いる(予防接種名)	いない	
15. 最近6カ月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの投与を受けましたか	いる	いない	
※ 16. 【ご婦人の方に】 1) 現在、妊娠していますか 2) 接種後2カ月間の避妊について説明を受けましたか	はい	いいえ	
17. その他、健康状態のことで医師に伝えておきたいことがあれば具体的にご記入ください(投薬状況など)	はい	いいえ	

医師の記入欄：以上の問診および診察の結果、今日の予防接種は(可能 ・ 見合わせる)

保護者に対して、予防接種の効果、副反応および医薬品副作用被害救済制度について、説明した 医師の署名

予診の結果を聞いて、今日の予防接種を受けますか (受けます ・ 見合わせます)	署名(本人もしくは保護者)
--	---------------

使用ワクチン名	接種量	実施場所・医師名・接種日時
ミールビック®	(皮下接種)	実施場所 森下駅前クリニック 医師名 篠塚成順
Lot No.	mL	接種日時 平成 年 月 日 時 分

※(注) ガンマグロブリンは血液製剤の一種で、A型肝炎など感染症の予防目的や重症の感染症の治療目的などで投与されることがあります。この注射を3~6カ月以内に受けた方は、生ワクチンの予防接種の効果が十分に出ないことがあります。

麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を受けられる方へ

<ワクチンの効果と副反応>

麻しん風しん混合ワクチンは、1回の接種で、麻しんおよび風しんに対する免疫を獲得することができます。副反応としては、ワクチンの接種直後から数日中に発疹、じんましん、紅斑、かゆみ、発熱などがみられることがあります。全身症状として、接種5～14日後に1～3日間のだるさ、不機嫌、発熱、発疹、また局所症状として接種部位に発赤、腫脹、硬結、疼痛などがみられることがあります。非常にまれですが、ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫など）、血小板減少性紫斑病（接種後数日から3週ごろに紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血など）、急性散在性脳脊髄炎（接種後数日から2週間程度に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など）、脳炎・脳症、けいれんがみられることがあります。

<予防接種を受けるときの注意>

- ① 麻しん風しん混合ワクチンの必要性や副反応について不明な点がある場合は、予防接種を受ける前にお医者さんに相談しましょう。
- ② 受ける前日は入浴（またはシャワー）をして、体を清潔にしましょう。
- ③ 当日は体調をよく観察して、普段と変わったところのないことを確認してください。
- ④ 清潔な着衣をつけましょう。
- ⑤ 予診票はお医者さんへの大切な情報です。正確に記入するようにしましょう。
- ⑥ 予防接種を受ける方がお子さんの場合、母子手帳を持っていきましょう。
- ⑦ 予防接種を受ける方がご婦人の場合、あらかじめ約1カ月間は避妊しておきましょう。

<予防接種を受けることができない人>

- ① 明らかに発熱のある人（37.5℃以上）
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 過去に麻しん風しん混合ワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人（他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある人は、予防接種を受ける前にお医者さんへその旨を伝え、判断を仰いでください）
- ④ 妊娠していることが明らかな人
- ⑤ お医者さんより免疫不全などの診断を受けた人または免疫抑制を起こす治療を受けている人
- ⑥ その他、お医者さんが予防接種を受けることが不相当と判断した人

<予防接種を受ける際に、お医者さんとよく相談しなくてはならない人>

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患がある人
- ② 発育が遅く、お医者さんや保健師さんの指導を継続して受けている人
- ③ カゼなどのひきはじめと思われる人
- ④ 前回の予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた人
- ⑤ 薬の投与または食事で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人
- ⑥ 今までにけいれんを起こしたことがある人
- ⑦ 過去に免疫不全と診断されたことがある人および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ⑧ 麻しん風しん混合ワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある人
- ⑨ 家族、遊び友達、クラスメートのあいだに麻しん（はしか）、風しん、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）などの病気が流行しているときで、まだその病気にかかったことがない人
- ⑩ 妊娠の可能性のある人

<予防接種を受けたあとの注意>

- ① 接種後30分間は病院にいるなどして様子を観察し、アレルギー反応などがあればお医者さんとすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② 接種後2～3週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ③ 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすことはやめましょう。
- ④ 接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。ただし、はげしい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ⑤ 高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかにお医者さんの診察を受けてください。
- ⑥ 接種後2カ月間は妊娠しないように注意してください。

あなたの接種予定日	医療機関名
月 日 () です 当日は受付に 時 分頃おこしてください	